

2013年7月29日

各位

オリックス・リビング株式会社
一般社団法人ナレッジキャピタル

介護の研究・開発・創造拠点 「オリックス・リビング イノベーションセンター」 グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」に8月1日開設

オリックス・リビング株式会社(本社:東京都港区、社長:森川 悦明、以下「オリックス・リビング」)は、一般社団法人ナレッジキャピタル(大阪市北区、代表理事:宮原 秀夫)が運営するうめきた・グランフロント大阪の中核施設「ナレッジキャピタル」に介護現場のニーズとシーズをマッチングさせる研究・開発・創造拠点「オリックス・リビング イノベーションセンター」を2013年8月1日に開設いたします。

「オリックス・リビング イノベーションセンター」では、オリックス・リビングが運営する有料老人ホーム「グッドタイム リビング」の実際の居室・浴室を再現しています。そのため、入居者のプライバシーを気にすることなく、実際の介護現場で発生している課題をメーカーや研究機関等と共有し、解決する有効な機器の開発、実証試験が可能となります。既に、以下の複数社と開発に向けた連携を開始しており、今後、さらにさまざまな参画者を募り、開発支援を実施します。

- ・NK ワークス株式会社 【3次元電子マットによる見守りシステム】
- ・株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 【高齢者の見守り・移動支援サービス】
- ・トヨタ自動車株式会社 【移乗ケアアシストの実証】
- ・マッスル株式会社 【非装着型移乗支援介護機器の実証】
- ・ミズノ株式会社 【高齢者を対象とした商品・サービスの研究・実証】
- ・株式会社村田製作所 【温湿度センサシステム・センサ連動型照明無線制御システム】

ナレッジキャピタルに当拠点を開設することで、介護分野において「新たな価値」を創出し、具現化に向けてさまざまな取り組みを実施します。さらに、ナレッジキャピタルの参画者との連携などによる相乗効果も視野に入れていきます。

現在の介護現場は、入居者のプライバシーや安全性などへの配慮から実証試験を行うハードルが高く、介護の最前線で実際に求められているニーズが、機器を開発するメーカーに伝わりづらいという問題があり、人口の高齢化が進んでいるにもかかわらず、高齢者の生活の周

辺や介護現場では、暮らしの質の向上につながる機器や研究を実証していく場が少ないのが現状です。一方で、政府が6月に発表した成長戦略においては介護補助ロボット等、介護現場の省力化に向けた新たな技術開発に多くの期待が寄せられています。

オリックス・リビングでは、介護される方の心身の負担や介護職員の身体的負担の軽減を図るため、運営する有料老人ホーム全拠点に介護リフトの導入を既に決定しており、介護される方の心理の変化、介護職員の意識改革など、介護リフト導入を通して得た知見を多くの方々と共有し、安全性と快適性を両立させる補助器具の導入と普及を目指します。

さらに、当拠点で超高齢社会の日本から世界に先駆けて、本当に求められている機器の開発から実証試験、介護現場への普及活動までをワンストップで行い、高齢者の暮らしの質の向上に努めてまいります。

以上

<お問い合わせ先>

<オリックス・リビング イノベーションセンターについてのお問い合わせ>

オリックス・リビング株式会社 広報担当

東京(真部) TEL:03-5439-2212 大阪(吉田) TEL:06-6492-1765

<ナレッジキャピタルについてのお問い合わせ>

一般社団法人ナレッジキャピタル

古市 TEL:06-6372-6427

「オリックス・リビング イノベーションセンター」概要

- (1)名称 オリックス・リビング イノベーションセンター (ORIX Living Innovation Center)
- (2)所在地 大阪府大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 8階 K840
- (3)施設概要 延床面積 117.64 m²
模擬居室・浴室、プレゼンテーションルーム
- (4)利用用途 介護現場の研究、補助機器開発・実証試験、スキルアップ研修
- (5)運用開始日 2013年8月1日

■オリックス・リビング株式会社 会社概要

- 本 社： 東京都港区浜松町 2 丁目 4 番 1 号
- 設 立： 2005 年 4 月 1 日
- 事業内容： (1)有料老人ホーム、シニア住宅等の運営
(2)上記施設で必要とされる生活支援関連サービスの提供
(3)介護サービスの提供
(4)(1)～(3)に付随・関連する各種サービス

■ナレッジキャピタル 施設概要

- 名称： ナレッジキャピタル
- 開業日： 2013 年 4 月 26 日
- 所在地： 大阪市北区大深町 3 番 1 号 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル
北館 地下 2 階～地上 8 階、10 階(タワー B)／～地上 13 階(タワー C)
- 延床面積： 約 88,200 m²

【ナレッジキャピタルについて】

うめきた・グランフロント大阪の中核施設であるナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々(一般生活者から世界一の技術を持つ人や企業、研究機関、大学まで)の交わりから、今までにない商品、サービスや人材などを生み出すことを目指します。一般社団法人ナレッジキャピタルならびに株式会社 KMO がナレッジキャピタルの施設運営を担い、場[施設]と機能[人的支援]を提供し、ナレッジキャピタルにおける産業創出、文化発信、国際交流、人材育成の実現を図ります。



うめきた・グランフロント大阪の中核施設であるナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する複合施設として、多様な人々(一般生活者から世界一の技術を持つ人や企業、研究機関、大学まで)の交わりから、今までにない商品、サービスや人材などを生み出すことを目指します。一般社団法人ナレッジキャピタルならびに株式会社 KMO がナレッジキャピタルの施設運営を担い、場[施設]と機能[人的支援]を提供し、ナレッジキャピタルにおける産業創出、文化発信、国際交流、人材育成の実現を図ります。

<オリックス・リビング イノベーションセンター>



模擬居室



模擬居室



模擬居室



模擬浴室



プレゼンテーションルーム